



博多あん通信

発行元
博多あん(安全)・あん(安心)リーダー会
連絡先
〒812-0882
福岡市博多区麦野5丁目22番6-505号
代表幹事 小森 勝輝

2019年(平成31年)

1月1日号
<No.35>

リーダー会 平成30年度 冬研修会～防災ドローン～

12月16日(日)16時からあすみに於いて、「防災ドローン」をテーマに、九州ドローンコンソーシアム (<https://www.kyushudrone.com/>) の代表理事を務めておられる(株)トルビズオン 増本衛様を講師に迎え、研修会を開催致しました。九州ドローンコンソーシアムには、交通インフラ、エネルギーインフラ企業を始めIT関連企業等40団体が参加。インフラ点検、農林水産、観光、防災、AI、教育の6つのワーキンググループがそれぞれの分野で活動しており、トルビズオンはドローンの活用についてのコンサルティング業務を展開されています。

ドローンといえば、2015年首相官邸にドローンが落下した事件などにより、「便利そうだけど落ちたら危ない」「テロに利用される可能性があり危険だ」とマイナスなイメージが先立ちました。同年に航空法の改正が行われ、初めてルールができたもののまだまだ浸透してはいません。使う側と許可する側双方が、マナーを認識し知識を深めることにより、新しい「ドローン文化」を育てていく必要があります。

ドローンは最近種類も増え、大きさや機能のバリエーションが増えたことで、驚くべき進化を続けています。今回の研修会では、比較的小型の手のひらサイズのドローンを見ることが出来ました。小型と言っても4Kカメラを搭載しており、安定した自律飛行により鮮明な映像が録画できるため、災害時に空中からの状況確認など、十分に活用できる性能があります。

分かりやすく解説される内容に、皆さん興味津々といった感じで耳を傾け、大変熱気のコもった1時間でした。(西支部 重岡 孝則)

平成31年福岡市消防出初式

1月12日(土)平成最後の消防出初式が開催され、リーダー会からは35名が参加しました。早朝はあいにくどんよりとした空でしたが、行進の頃には天気は回復し、浜風も無く、例年より暖かく感じました。



今年の旗手担当は南支部、最高齢の堀田さんに務めていただき、先頭を切って堂々と行進して下さいました。参加者からは「今年最初の活動なので身が引き締まる」との声が多く聞かれました。ここ数年災害の多い年が続きましたが、今年は何事も無き様にと祈りつつ、防災・減災活動を頑張ろうと年頭の思いを胸に皆さんと行進致しました。(南支部 菅原 佳子)

14期生の抱負

私は防災士としての知識・技術を研鑽し、「自助」自分自身、そして一番大切な家族を守ります。次に「共助」として身近な人、ご近所の方はじめ町内、校区の防災活動に役立てます。

日頃から目の前で困っている人や苦しんでいる人に、声をかけることが出来なければ、非常事態や事故、災害時瞬時に行動に移すことはできません!

先輩方に学び、経験を重ね、これまで以上に被災地ボランティアとして、地域住民として、一人の人間としてアンテナを張り、自己研鑽に励みます。(東支部 今林 竜次)

早良支部～活動報告～

早良支部では出前講座や地域共同アドバイザー活動を通して、各校区避難訓練等に参加させていただいております。

直近の大きな活動としましては、10月27日(土)に西南学院大学で開催された避難訓練にて段ボール簡易ベッドの作り方等を紹介しました。今回の訓練では、女性目線の避難所運営をテーマとして、ママ友を活用した避難方法等の説明もあり、我々にとっていづれも非常に貴重な体験となりました。

今後もこの避難所運営訓練で学んだことを、被災時にはもちろん、平時においても一人でも多くの方にお伝えできるよう活動していきたいと思っております。(早良支部 松本 一郎)



城南支部～活動報告～

12月15日(土)に福岡大学、福岡大学病院、城南区役所が主催の「福岡大学総合防災訓練」が開催されました。

①福岡大学防災訓練、②避難所開設・運営訓練、③福岡大学病院 トリアージ訓練の3部構成で3時間30分の訓練へ大学生、城南区地域住民が多数参加し、城南支部は、避難所運営訓練の段ボールベッド作成指導と、非常持ち出し品の説明及び展示に8名が参加協力しました。

避難所運営訓練は、大学生のリーダー、地域のサブリーダーのもと警備班や救助班など役割別に分かれ、次にリーダーから各班へ指示が出され、その指示のもと各班員が班別で避難所運営を行い、その中に段ボールベッド作成が組み込まれました。また班員から傷病者役を選定し、福岡大学病院(災害拠点病院)へ向かいトリアージを受け、最後に非常持ち出し品の説明と展示を案内するという内容でした。

実際の避難所と災害拠点病院という現場で、大学生や住民を被災者役に仕立てて、様々な指示のもと実際にシミュレーションしたのは画期的な取り組みであり、今後も継続してほしいと思っております。(城南支部 牧菌 典浩)



中央支部～活動報告～

中央支部では、9月中央区男女協研修 HUG、10月赤坂・警固合同防災訓練、天神中央公園管理事務所職員研修 DIG、そして中央区安全・安心フェスタ、簗子防災訓練、草ヶ江校区防災訓練、平尾校区防災訓練を実施しました。

簗子防災訓練では、消防車、救急車、パトカーが出動し、見たり触ったり乗車体験があり、自治会の炊き出しや非常持ち出しゲーム等、「みんなの為に」と熱い思いの一日でした。

平尾校区防災訓練では、水道局が被災時の水袋給水体験、市役所職員による相談窓口、非常持ち出しゲームと在宅避難対策注意表の展示等が実施され、来場者も熱心で14年前より知識欲の高まりを感じました。(中央支部 小田 ゆう子)



西支部～活動報告～

9月15日(土)西支部では自主学習会として、「防災クッキング」をしました。ビニール袋を使った調理実習では、ごはんやスパゲティ等主食だけではなく、スナック菓子を使った「ポテトサラダ」も作り、災害時に貴重な水を使用せずにすむよう、お皿にラップを敷いて盛りつけ試食をしました。

防災クッキングといっても、単なるクッキングで終わらないのが西支部！ツナ缶を用いた簡単手作り防災グッズとして、「ツナ缶ランプ」を作りました。

缶のふたを少し開けて、ティッシュで作ったこよりを芯にして、油を染み込ませてから着火。数回トライして、やっと落ち着いた火になりました。大地震の揺り返しが来ているときには使えませんが、いろいろな状況を想定しての日頃からの体験は、いざという時に役立つもの。

もちろん、ツナ缶ランプの中身は「ツナ燻製もどき」にして試食。

メンバー同士の学びあいと小腹が膨らんだ後は、定例会と暑気払いの懇親会。いつでもどこでも防災+@のお話が尽きない、和気あいあいとしている西支部でした。

(西支部 久保 千景)



博多支部～活動報告～

昨年は様々な災害が起きましたね。2019年は災害が少ない事を願っております。

各支部の皆さま方には、大変お世話になりました。おかげさまで充実した2018年でした。HUG, DIG, クロスロード等の出前講座、単独講座等の要請が多く有り、又、博多区総合避難訓練及び吉塚校区防災訓練では、段ボールベッド作り、簡易トイレ作り等の依頼もありました。段ボールベッド作り、簡易トイレと言ったら・・・あんあんリーダー会??と思う事もあります。これも諸先輩方から引き継がれ、今の活動の方々の実動、実績により信頼を得、認知されてきた結果かなと思っております。

那珂校区でサポート避難所チーム福岡として講座のお手伝いもしました。知識を増やし研修会や講座実績を積みながらレベルアップを図り、さまざまな講座に支部の方々が、同じレベルで対応できるように日々研鑽し、対応できるようになりたいと思っています。今後とも博多支部への応援、アドバイス等々、宜しくお願い致します。

(博多支部 坂之下 輝雄)

南支部～活動報告～

11月4日(日)西長住校区男女協の依頼で、小学校体育館にて一般参加50名、スタッフ10名計60名で実践HUGを行いました。

事前に通路幅を考えてもらい、居住者スペースを4つ作り、次に参加者を仮の家族に分けました。リーダー会がカードを読み上げ、避難者名簿に記入後、トイレ、ペット、保健室等に誘導します。

保健室ではビニール袋で作ったオムツや三角巾の体験、人カクイックを使って車椅子での避難も行いました。また、居住者スペースでは段ボールベッドを製作しました。参加者のアンケートでは、実際に様々な体験が出来たと好評でした。

(南支部 松岡 秀幸)



車いす人カクイックの紹介

レジ袋で三角巾を作ります。

東支部～活動報告～

福岡和白病院の看護師、岩北良子さん(防災士/災害支援ナース)から「災害時の対応」の講義を受講しました。

「避難所で最初に取り掛からなければならないことの1つは、トイレの確認と確保。不便で不衛生なトイレに行きたくないが為に、水分補給を控えた結果、体調が悪化し深刻化するケースが多い。避難所全体で水分摂取の時間を設けたり、体操をしたりと対応していくことも、関連死予防に繋がる」とのこと。何度も被災地で活動されている方の「安心して使えるトイレを求めることは、贅沢ではなく命を守るために必要な事」という言葉はとても重みがあり、一番印象に残っています。命に関わる重要な備えとして、トイレ備蓄の必要性について広く伝えていきたいと感じました。

また、「持病やアレルギーのため、食事に制限がある方は意外と多いもの。しかし、本人は言い出せないケースが多い。避難所開設時や食事提供時に離乳食を含め、特別な食事必要な方に申し出てもらうよう、アナウンスすると良い」とのアドバイスもありました。

今後も支部研修会に積極的に参加し、活動に有益な知識や情報や体験談を得て、地域防災力向上に貢献できる防災士でありたいと思います。

(東支部 黒屋 文)

トピックス ～これからの活動にご興味がある方は事務局までご連絡ください～

*各種講座活動状況(12月末現在)

<出前講座>	実施講座数 26回	予定 0回	計 26回
<地域活動アドバイザー>	実施講座数 39回	予定 1回	計 40回
<防災教育アドバイザー>	実施講座数 2回		
<単独事業>	実施講座数 20回	予定 0回	計 20回

*福岡市消防出初式 1月12日(土)博多区 マリンメッセ福岡 隊列行進 35名参加

*「避難所サポートチーム福岡」養成講座

- 第1回講習会 2月16日(土) 10:00~16:00
- 第2回講習会 3月23日(土) 10:00~16:00

*防災どんたく「あんぜん・あんしんフェア」

3月2日(土) 10:00~16:00 イオン香椎浜 非常持ち出し品展示 防災腹話術

*防災どんたく「みんなで防災」

3月21日(木、祝) 13:00~17:00 中央区 新天町商店街サンロード
市民防災コーナー、气象台コーナー、心肺蘇生AED(応急手当普及の会)、ロープワーク他
(事務局長 平山 光典)

編集後記

各支部の皆様方のご協力を頂きまして、年度2回目の広報誌を発行することができました。温暖化に起因する異常気象の連続、地核変動による地震・津波・土砂災害の多発で、各地域であん・あんリーダー会の活動が求められているようです。様々な記事をありがとうございます。

《お詫び》No34で今年の編集委員早良支部松本一郎氏の記載が漏れていました。

広報部長 陣内 圀弘(東支部)

